



昭島市立富士見丘小学校

誰もが笑顔の『垣根のない学校』

学校経営方針

令和7年4月1日 校長 稲垣 達也

学級、学年、学校、教職員、保護者、地域の方々、全ての「人とつながる」
論理や思考、コミュニケーション・表現や感性・情緒の基盤である「言葉でつながる」
あいさつが響き合い、子供同士、子供と大人、教職員と保護者・地域の人々と「心がつながる」

1 基本理念

誰もが笑顔で過ごす“垣根のない学校” ～子供は未来の守護者～

教育理念

- 1 子供は、未来の守護者。子供は、未来からの留学生。
- 2 教育は、未来からの負託を受けた極めて責任のある仕事である。
- 3 職員は、仕事に自ら付加価値を付けてこそプロである。



人類の未来を創造し、未来を守るのは、今の子供たちです。その子供たちを育てる学校教育は、未来を創る仕事とも言えます。つまり、教育は未来からの負託です。私たちは「垣根のない学校」として、子供たち一人一人の人格を尊重し、未来社会を担う人材を育てる責務を全力で全うしていきます。

2 基本方針

コミュニティ・スクールとして、以下の3点を約束します

1 『安全・安心』 学校は「安全」で「安心」できる場であること

「一人に一つ」のかけがえのない命を守ることは、学校の最大の責務です。危険予知、危機管理、安全配慮に全力を尽くし、子供たちの安全を学校生活の全てに優先させます。そして、いじめや体罰などの人権侵害を許さず、誰もが安心して過ごすことのできる学校風土を築きます。

2 『ワクワクする授業』 授業が楽しい、学校が大好き、学校に行きたい

学校の判断基準は、「子供にとってどうか」です。子供にとってよりよい教育を行うのが学校です。子供一人一人を大切に、一人一人を生かしていきます。そして、子供が主体的に学び・考え、成長し続ける力を付けることで、「学校が楽しい。学校に行きたい。」につなげます。

3 『未来を創造する子』 Society5.0 時代を主体的に生き抜く

予測できない変化を受け止め、正面から向き合い、主体的に関わろうとする子供。AI には代替できない創造性を発揮する子供。未知の課題を思索し、協働して新たな価値観や行動を生み出し、豊かで活力ある未来を創造する子供。そんな新たな時代を担う人材を育成します。

実態に対応する
柔軟な教育課程

共同及び交流学习
インクルーシブ

教育の質を高める
働き方改革の具現

学び続ける教職員
職員研修の充実

目指すのは

安全・安心で、誰もが楽しく、居心地のいい学校

インクルーシブ教育は「例外なく一人一人にとって暮らしやすい場所」を作る取り組みです。嫌なことや苦手なこと、好きなことや得意なこと、それを伝え合い、分かち合い、一緒に工夫し合っていくことで、誰にとっても安心して過ごせる学校を創って参ります。

梵事徹底
誰でもできる平凡なことを
誰もができないくらい
徹底して続けること
徹底して続けること
それ自体が非凡となる
小さなことを
積み重ねてこそ成功